

雪害を受けた農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

2月4日からの大雪により、会津地域でパイプハウス等の倒壊や破損等の被害が発生しています。早急に被害状況を確認するとともに、被害の状況に応じた事後対策を実施しましょう。

また、今後も19日～24日にかけて降雪が続くことが予想されますので、施設の補強や除雪、果樹棚や樹体被害の防止対策等にも万全を期してください。

1 除雪作業

作業は、安全確保を十分に行ってから実施しましょう！

(1) 作業中の事故防止

- ・ 作業しやすく、機械に巻き込まれない服装で作業します。
- ・ 倉庫、資材庫、畜舎、堆肥舎等の雪下ろしを行う場合は、屋根からの転落に気をつけてください。必ずヘルメットや安全带・命綱等を装着し安全を確保してください。
- ・ 建物の屋根からの落雪に十分注意してください。
- ・ 路肩、側溝、用排水路、河川、川岸などの危険箇所を作業前に十分確認し、目印を立てるなどして転落事故を防止してください。
- ・ 作業中の除雪機械での挟まれ事故、巻き込まれ事故に注意してください。
- ・ 1人での作業は避けグループで作業し、相互に安全確認を行ってください。
- ・ 除雪作業は重労働なので、十分な休憩時間を取りながら作業を行ってください。
- ・ 疲労による注意力の低下は事故の発生につながるので、長時間の作業は避けてください。

(2) 除雪機の点検と操作方法

- ・ 作業開始前には、除雪機の点検を実施します。
- ・ 除雪機械の操作方法や、緊急時の機械停止方法を再確認します。機械の操作方法は、一緒に作業をする人にも周知します。

(3) 農業用機械による除雪作業の注意

- ・ トラクタ等の農業用機械を使用して除雪作業を行う場合は、雪面でのスリップや滑落に注意してください。
- ・ タイヤには滑り止めを装着してください。

2 園芸施設

(1) 作業者の安全確保

- ・ パイプハウスの骨材・被覆資材の修復や撤去作業は、降雪が収まるのを待ち、除雪等を行い安全性を十分確保してから実施しましょう。倒壊したパイプハウスの骨材等には予想外の力がかかっていることがあります。修復や撤去作業時には、骨材の跳ね上がりなどにも十分注意しましょう。
- ・ 施設内を加温する場合は、換気に十分注意しましょう。

(2) 加温施設の管理

- ・ ボイラー等加温機械の点検を行い、安全管理を徹底します。
- ・ 加温機械周囲の除雪を行い、排気ガスの逆流等を防止します。

(3) 今後の対策

- ・ パイプハウスを中柱や筋交いで補強しましょう。
- ・ 今後の降雪に備えて、ハウス周囲を除雪しておきましょう。

3 作物別の対策

(1) 野菜・花き

ア 野菜・花き（共通）

パイプハウス等の骨材の曲がりや被覆資材の破損が一部にとどまり、残った作物の栽培が可能な場合は、速やかに補修及び補強を行い、内トンネルやべたがけ等で被覆するなどの保温対策を実施してハウス内作物の最低温度を確保しましょう。

イ 野菜

- ・ いちご、トマト、きゅうり等の果菜類で被害が軽微な場合は、摘果を早めに実施するとともに、温度の確保に努め、葉の伸長等の回復が見られたら速効性肥料の追肥や葉面散布を行いましょ。う。
- ・ ニラは雪害を受けた葉茎部を速やかに除去し、2番刈り以降の伸長を促しましょう。
- ・ ホウレンソウ、コマツナ等の葉菜類は、被害が軽微だった株を内トンネルやべたがけ資材等で被覆しましょう。なお、被害程度が大きく回復が困難な場合は、まき直しや他作物への転換を図りましょ。う。

ウ 花き

被害が軽微な場合は、葉面散布剤や追肥等により草勢の回復を図るとともに、病害の発生を抑えるため、病虫害防除指針にしたがい薬剤散布を行いましょ。う。なお、被害程度が大きく、回復が困難な場合は、早急に植え直しや他品目への転換を図りましょ。う。

※ なお、詳しくは福島県農業振興課のホームページに「パイプハウスの雪害防止対策（暫定版）福島県 平成23年3月」として掲載していますので、以下のURLよりご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/10639.pdf>

(2) 果 樹

ア 樹体被害等の防止対策

果樹棚上や樹体に着雪が多い場合は、早急に雪下ろしを実施しましょう。

枝が雪に埋没している場合は、枝折れ防止のため雪の沈降が進まないうちに掘り出します。また、雪が固まっている場合は、沈降力を軽減させるため周囲に切込みを入れて溝を作ってから掘り出します。

イ 樹体被害等を受けた場合の対策

主幹部が裂開した場合には、できるだけ早急に支柱を添え、カスガイやボルトで早めに止めて接合します。大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分で切り戻します。

また、切除部（傷口）は、雨水や病原菌の侵入および乾燥等による枯れ込み防止のため、塗布剤を塗布し傷口の保護に努めましょう。

果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

ウ ハウス栽培果樹の被害対策

パイプハウス骨材の曲がりや被覆資材の破損が一部にとどまり、残った作物の栽培が可能な場合は、速やかに補修及び補強を行い、保温対策を実施してハウス内の作物の最低温度を確保しましょう。

(3) 畜 産

ア 畜舎等に着雪が多い場合は、安全性を十分に確保した後、除雪を実施しましょう。

イ 畜舎等が破損した時は、周囲の安全を確認の上、家畜に危害がないように応急措置を講じましょう。

ウ 外傷等異常家畜の早期発見のため、家畜の観察に努めるようにしましょう。また、家畜に危害があった時は、速やかに獣医師に連絡をしましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 0 2 4 (5 2 1) 7 3 4 4

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください

URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>